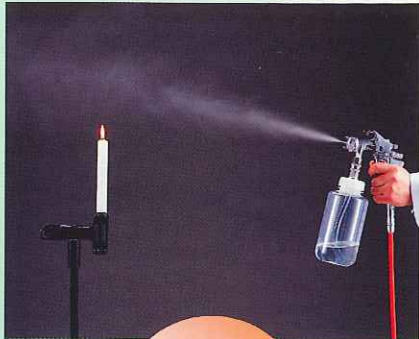


パナエックスライザー®

細菌に有効なアルコール製剤を炭酸ガスと共に 10-15 ミクロンの超微粒子で噴霧する新次元スプレー装置

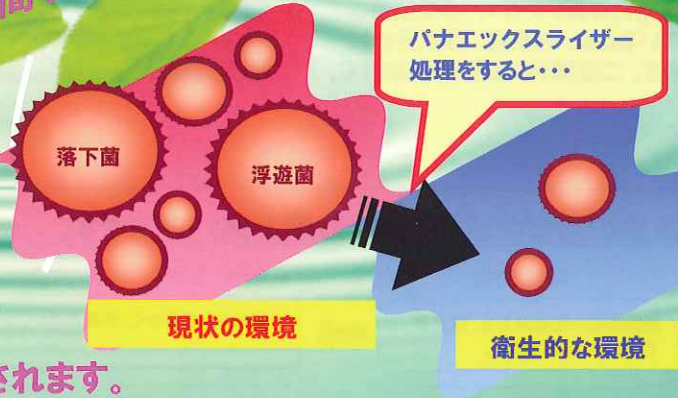


小型
省スペース
設計

電源
不要

除菌

各種施設・設備における
安全・安心・快適な
空間づくりに貢献します



超微粒子なのでアルコール塗布と同じ効果が発揮されます。

こんなところにおすすめです



※商品写真はイメージです。実物と若干異なる場合があります。



パナエックスライザーの特徴

高効果

揮発性があり、除菌効果の高い高濃度アルコールを短時間で効果的にスプレーすることが可能です。

機能性

パナエックスライザーは電源を必要としないため、どんな場所でも使用でき、作業音もほとんどありません。また、本体重量 8kg のコンパクト構造で誰でもスピーディに操作することができます。

経済性

超微粒子によるスプレーによりアルコール製剤やその他の薬剤の使用量を削減でき、除菌作業のスピード化・省力化により人件費の軽減が図れます。

省力化

揮発性の高いアルコールを使用しているため、対象物には水分が残らず、二度拭きの必要がありません。



各種方法と比べアルコール消毒は多くの優れた利点があります。

■消毒方法の有用性比較

(○優れている △やや問題あり ×問題あり)

消毒方法	作業時間	錆発生	引火性	臭気	毒性	有効性と問題点
パナエックスライザー消毒*	○	○	○	○	○	総合的には最も優れた方法である。
ホルマリン消毒	×	○	○	×	×	効果は高いが設備や処置が必要。消毒時間が長いのが欠点。
紫外線殺菌	×	○	○	○	×	影の部分の殺菌ができない。光が有害で危険。距離があると効果が低下。
オゾン殺菌	×	×	○	△	×	気体なので触れる面の殺菌ができる。人体に有害。密閉された場所(設備)が必要。機器類に錆が発生。
殺菌水	×	×	○	△	○	分解しやすく、殺菌効果を上げるには条件設定に工夫が必要。錆対策も必要。

*パナエックスライザー消毒はアルコール製剤を用いた場合です。

従来の清拭方式に比べ、効率の高い方法です。

＜清拭方式＞

除菌製剤の残留水分を、空拭きでふき取る必要がある。

作業員の習熟度により、除菌効果格差が大きい。

モップなどを使用するため、除菌製剤の無駄が生じる。

＜パナエックスライザー方式＞

・空拭きが必要なく、作業が早い。

・習熟度格差が小さい。
・スピーディで、労働力削減。

・必要な除菌製剤の量ですむ。

■仕様

型式/SNA-50SK
外形寸法/幅 200×奥行 370×高さ 900mm
本体重量/約 8kg (ポンペ含まず)
本体材質/SUS304 (研磨仕上)
薬液ボトル/500ml
薬液スプレー量/約 60ml/分
使用ガス/液化炭酸ガス 5kgポンペ
ポンペ使用時間/約 80分

■使用条件: 周囲温度/-10℃~40℃ 相対湿度/30~85%

■使用上の注意 取扱説明書をよく読んでお使いください。

パナエックスライザー除菌データ(一部)

一般生菌の場合



除菌前:68



除菌後:5

除菌場所/トヨタ・タウンエース(荷室)

除菌手順/運転席荷室側から後部扉側へ除菌を行った。

(1分間 6m²を目安として噴霧する)

データ採取方法/除菌前後でスタンプ培地を使用した。 単位:CFU
(除菌後 10分間車内を密閉する)

Iwatani Group

国際衛生株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-14-7

TEL (03) 3667-6711 FAX (03) 3667-6822

URL <http://www.kokusaieisei.jp/>